



慶應義塾大学ビジネス・スクール

株式会社あきんどスシロー 2013年

5

外食業界について

(広義の) 外食産業の市場規模は、約 30 兆円と安定しているが、(狭義の) 外食産業の市場規模は、17.4 兆円 (2013 年みずほコーポレート銀行産業調査部) と推計されており、2009 年の約 24 兆円から大きくその数字を減らしている。今後中長期的に、人口減少や少子高齢化が進む日本において、市場の縮小、市場が飽和することによる、さらなるマーケットシェアの奪い合いも予想されている。2011 年の外食チェーン企業全体の全店売上高は、震災マインドによる購買意識の冷え込み、夏のイベント自粛や天候悪化などのマイナス影響で、前年比 -1.2% となり、外食業界各社の 2012 年度決算は大変厳しい状況にあった。2012 年は震災による落ち込みの反動により、前年同月比プラス基調での推移となった。また、2013 年も景気回復や雇用情勢の改善等、日本経済に明るい兆しが見えているため、前年比プラスという予想がなされている。しかしながら、中長期的なトレンドとして、先述した少子高齢化等の影響等により、中食市場が圧倒的に伸びており、(狭義の) 外食産業の未来は決して明るいとは言えない状況である。

また、業界内においては、牛丼業界に代表されるように、「安さ」を売りにした企業が増えてきている。その結果、「安さ」は消費者にとって当たり前になってきていることから、業界内でも新たな競争の軸が求められてきている。

25

本ケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール准教授 村上裕太郎監修のもと、遠藤啓、小澤美月、佐々木俊介、新倉理人、平田健、水野順子、若松孝夫 (すべて M35 期生) が公表資料および取材によって、クラス討議の資料として作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール (〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法 (電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない) による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 村上裕太郎、遠藤啓、小澤美月、佐々木俊介、新倉理人、平田健、水野順子、若松孝夫 (2014 年 4 月作成)